

こんなことができます!

環境計画、環境教育 (原子力・放射線教育を含む) を支援します



ふくしま環境フェスタ 2015 に出展した自転車発電体験のブースの様子



夢

福島第一原発事故の教訓を踏まえた環境計画、環境教育を広く展開したい

共生システム理工学類

後藤 忍

GOTO Shinobu

准教授 博士(工学)

専門分野

環境計画、環境システム工学、環境教育

特許情報、著書、論文

「福島第一原子力発電所の事故後における福島県の物質フローの推計」、福島大学地域創造、Vol.26、No.1、15-32、2014年
『みんなで学ぶ放射線副読本～科学的・倫理的態度と論理を理解する～』、合同出版、2013年



環境計画について幅広く研究しています。具体的には、1) 地理情報システム (GIS) を活用した生物生息空間の計画、2) 資源・廃棄物の流れを把握する物質フローの分析、3) 環境計画の進行管理に貢献する環境指標の開発や環境負荷の“見える化”、4) 人々の意識・行動の変革を促すための環境教育教材の開発や環境メディアの特性分析、などです。1)～3) は地方自治体の環境基本計画等との関連性も深く、実際の計画策定にも携わってきました。4) については、小学生対象の環境教育事業を15年以上協働で実施してきた他、3.11後は原子力・放射線教育の教材開発も行っています。

想定するパートナー

国、地方自治体、NPO・NGO

具体的な連携、事業化のイメージ

環境指標による評価、物質フローの推計、環境教育事業の企画・運営

これまでの取組事例

<環境計画の策定に携わった事例>

- ・福島県環境基本計画(2004～2014年)
- ・福島県循環型社会形成推進計画における福島県の物質フロー推計(2007、2011、2014年)
- ・福島市再生可能エネルギー導入推進計画(2015年)

<環境教育、普及啓発イベントに携わった事例>

- ・ふくしまエコ探検隊(福島市、2001年～現在)
- ・環境省3R推進マイスター(環境省、2007年～現在)
- ・ふくしま環境フェスタ(福島市、2013年～現在)

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

